

株式会社日建

2021年度

環境経営レポート

対象期間：2021年6月1日～2022年5月31日



写真：守山エコパーク環境施設



作成日：2022年6月25日

発行責任者：大泉 浩康

1 取組対象組織・活動

事業者名及び代表者名

株式会社日建

代表取締役 旗手紘一郎 2022年5月31日付 辞任

代表取締役 高橋武宏 2022年6月 1日付 就任

所在地

本社 〒524-0031 滋賀県守山市立入町475番地の2
 東北支店 〒989-2205 宮城県亘理郡山元町小平字北柳沢35-1
 2022年3月31日 閉鎖・傘下小高営業所（福島県）は継続して
 砂利販売の営業を行っている
 京都支店 〒600-8239 京都府京都市下京区東堀川通下棚魚下る鎌屋町23
 シンエイビル2階
 2022年3月15日 開設

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先（電話番号等）

環境管理責任者 営業部長：大泉 浩康

連絡先：TEL:077-583-7400 FAX:077-583-7412

連絡担当者 総務部：木下 理恵

連絡先：TEL:077-583-7400 FAX:077-583-7412

mail: kinoshita@nikken-shiga.com

事業活動の内容（認証・登録範囲）

国土交通大臣許可（特一4） 第 24485号
 土木工事、建築工事、舗装工事、水道施設工事、
 採石事業

事業の規模

売上高 7,500 百万円／2021年

工事件数 23 件／2021年

全従業員 47 名

当社の事業年度は6月1日から翌年5月31日です

事業組織

面積：㎡	本社	東北支店	京都支店
事務所床面積	1,507	64	76
倉庫床面積		13	
駐車場面積	449	2,000	
資機材置場面積		30	
碎石場面積		160,984	
従業員 名	39	4	4
認証・登録	○	○	○

過去3年間の環境負荷の実績

	単位	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素の排出量	kg-CO ₂	2,998,831	3,063,944	1,353,482
二酸化炭素排出量百万円原単位	kg-CO ₂ /百万円	743.2	829.7	180.5
廃棄物の排出量	t	1,691	754.8	1,252.6
水の使用量、排水量	m ³	676	940	1,407

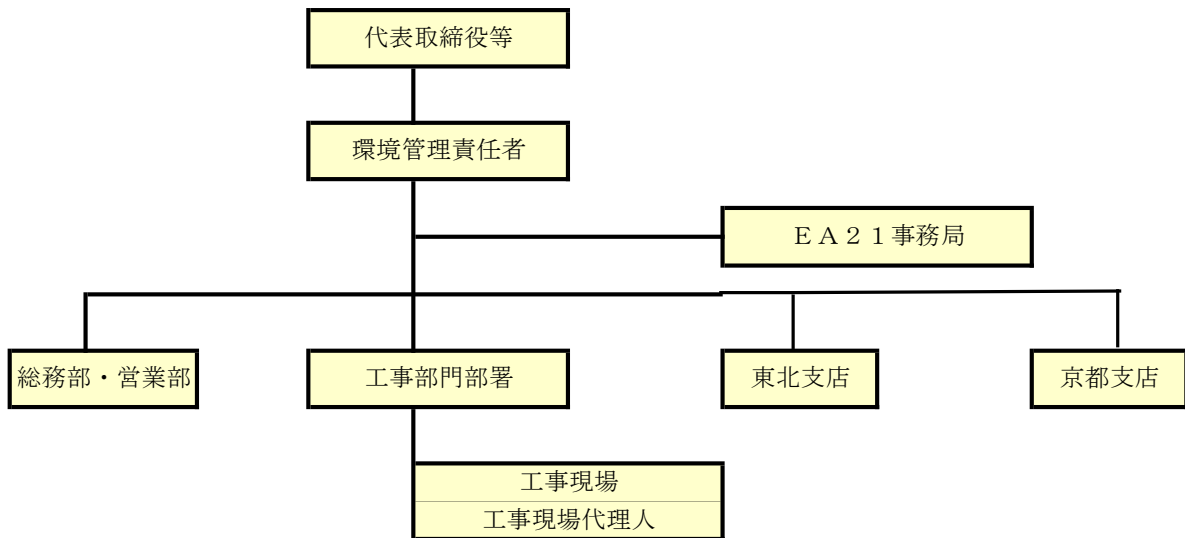
*環境活動期間は、6月1日から翌年5月31日です。

*購入電力の2019年調整後排出係数は、本社のウエスト電気が0.429kg-CO₂/kWh、関西電力が0.318kg-CO₂/kWh、東北電力が0.522kg-CO₂/kWhを2021年から2023年の3ヶ年間固定します

*産業廃棄物排出量の内訳は 大津市管轄地域からの排出が 0 t、滋賀県管轄地域からの排出が 1,117.08 t、県外管轄地域からの排出が 135.5 t です

*化学物質の取り扱いはありません

EA2 1 実施体制組織図



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	③環境管理責任者を任命する。
	④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑤代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。
	⑥環境経営レポートを承認・許可する
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③法規制等の遵守状況をチェックする。
	④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。
	⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。
	⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧E A 2 1に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とE A 2 1事務局への達成状況の報告。
	②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
E A 2 1 事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤文書及び記録の管理保管。
	⑥外部コミュニケーションの窓口。
	⑦内部コミュニケーションの運営管理。
	⑧従業員に対する教育訓練の実施。
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
	⑩環境経営レポートを作成する
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

株式会社日建

環境経営方針

環境理念

株式会社日建は、日本最大級の湖『琵琶湖』を含む、豊かで美しい自然環境との共存を最重要課題であると認識し、あらゆる事業活動での環境負荷の低減を目指し、省資源、省エネルギー、リサイクルの推進及び廃棄物削減を実現する為の低エネルギーシステム、エコ素材を有効に活用し、地球環境の保全に取組みます。

行動指針

当社は、国、滋賀県、市町を中心とした土木工事、建築工事等の事業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、エコアクション21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、事業活動のあらゆる面で、環境に配慮した循環型社会の構築と豊かな社会環境の創造に貢献します。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取組み実施します。
 - ☆ 事務所・建設現場・砕石場での電気使用量及び重機・車両の燃料使用量を減し、CO₂の排出量を削減します。
 - ☆ 建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進します。
 - ☆ 事業所・建設現場での節水に努め、水の使用量を削減すると共に、建設現場から排水する水の汚染、汚濁の防止に努めます。
 - ☆ 環境に配慮した施工を推進します。
 - ☆ 地域の環境美化活動に参加して社会貢献を推進します。
3. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。

制定日：2017年2月1日

改訂日：2019年6月1日

代表取締役 旗手紘一郎

3 環境経営目標とその実績

2017年2月よりエコアクション21環境活動に取り組んでいます。このレポートでは、2018年の実績結果を基準値として、2019年度から2021年度までの目標を下記の通り設定し、2021年6月1日から2022年5月31日までの運用実績について取りまとめました。

環境経営方針	取組項目	単位	年度	2021年 取組年		次年度	中長期
				2021年6月1日～2022年5月31日		2022年	2023年
				(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)
事務所・建設現場・砕石場での電気使用量及び重機・車両の燃料使用量を減し、CO ₂ の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (単位:kWh) 全社	目標・基準年度 比達成率	—	99%	38.4%	98%	97%
		使用量	446,756	442,288	171,640	437,821	433,353
		(kg-CO ₂)	159,157	157,566	71,043	155,974	154,382
	電力使用量の削減 (kWh) 本社事務所	目標・基準年度 比達成率	—	99%	97.4%	98%	97%
		使用量	103,659	102,622	100,972	101,585	100,549
		(kg-CO ₂)	44,470	44,025	56,544	43,580	43,135
	電力使用量の削減 (kWh) 本社建設現場	目標・基準年度 比達成率	—	99%	15.0%	98%	97%
		使用量	315,725	312,567	47,437	309,410	306,253
		(kg-CO ₂)	100,400	99,396	15,085	98,392	97,388
	電力使用量の削減 (kWh) 京都支店	目標・基準年度 比達成率	—	—	—	—	—
		使用量	—	—	1,735	—	—
		(kg-CO ₂)	—	—	552	—	—
	電力使用量の削減 (単位:kWh) 東北支店	目標・基準年度 比達成率	—	99%	84.6%	98%	97%
		使用量	27,372	27,099	23,160	26,825	26,551
		(kg-CO ₂)	14,288	14,145	12,090	14,003	13,860
	ガソリン使用量の削減 (単位:L) 全社	目標・基準年度 比達成率	—	99%	81.1%	98%	97%
		使用量	93,188	92,256	75,569	91,324	90,392
		(kg-CO ₂)	216,196	214,034	175,320	211,872	209,710
	ガソリン使用量の削減 (単位:L) 本社事務所	目標・基準年度 比達成率	—	99%	89.4%	98%	97%
		使用量	21,452	21,238	19,168	21,023	20,809
		(kg-CO ₂)	49,770	49,272	44,469	48,774	48,276
	ガソリン使用量の削減 (単位:L) 本社建設現場	目標・基準年度 比達成率	—	99%	93.5%	98%	97%
		使用量	40,604	40,198	37,956	39,792	39,386
		(kg-CO ₂)	94,201	93,259	88,058	92,317	91,375
	ガソリン使用量の削減 (単位:L) 京都支店	目標・基準年度 比達成率	—	—	—	—	—
		使用量	—	—	0	—	—
		(kg-CO ₂)	—	—	0	—	—
	ガソリン使用量の削減 (単位:L) 東北支店	目標・基準年度 比達成率	—	99%	59.2%	98%	97%
		使用量	31,132	30,821	18,445	30,509	30,198
		(kg-CO ₂)	72,226	71,504	42,793	70,781	70,059
	軽油使用量の削減 (単位:L) 全社	目標・基準年度 比達成率	—	99%	46.0%	98%	97%
		使用量	926,335	917,071	425,921	907,808	898,545
		(kg-CO ₂)	2,389,943	2,366,044	1,098,876	2,342,145	2,318,245
	軽油使用量の削減 (単位:L) 本社建設現場	目標・基準年度 比達成率	—	99%	7.5%	98%	97%
		使用量	351,238	347,726	26,408	344,214	340,701
		(kg-CO ₂)	906,195	897,133	68,132	888,071	879,009
	軽油使用量の削減 (単位:L) 東北支店	目標・基準年度 比達成率	—	99%	69.5%	98%	97%
		使用量	575,096	569,345	399,513	563,594	557,843
		(kg-CO ₂)	1,483,749	1,468,911	1,030,743	1,454,074	1,439,236
	灯油使用量の削減 (単位:L) 全社	目標・基準年度 比達成率	—	99%	341.7%	98%	97%
		使用量	964.7	955.0	3,296.2	945.4	935.7
		(kg-CO ₂)	2,402	2,378	8,208	2,354	2,330
	灯油使用量の削減 (単位:L) 本社事務所	目標・基準年度 比達成率	—	99%	362%	98%	97%
		使用量	246.3	243.9	891.0	241.4	238.9
		(kg-CO ₂)	613	607	2,219	601	595
	灯油使用量の削減 (単位:L) 本社建設現場	目標・基準年度 比達成率	—	99%	547%	98%	97%
		使用量	439.7	435.3	2,405	430.9	426.5
		(kg-CO ₂)	1,095	1,084	5,989	1,073	1,062
	灯油使用量の削減 (単位:L) 東北支店	目標・基準年度 比達成率	—	99%	0%	98%	97%
		使用量	278.7	275.9	0%	273.1	270.3
		(kg-CO ₂)	694	687	0	680	673

LPG使用量の削減 (単位:Kg) 全社		目標・基準年度 比達成率	-	99%	28.1%	98%	97%
		使用量	42.4	42.0	11.9	41.6	41.1
		(kg-CO ₂)	127	126	36	125	123
LPG使用量の削減 (単位:Kg) 本社事務所		目標・基準年度 比達成率	-	99%	50.1%	98%	97%
		使用量	23.7	23.5	11.9	23.3	23.0
		(kg-CO ₂)	71.2	70.5	35.7	69.8	69.1
LPG使用量の削減 (単位:Kg) 本社建設現場		目標・基準年度 比達成率	-	99%	0%	98%	97%
		使用量	18.7	18.5	0	18.3	18.1
		(kg-CO ₂)	56.0	55.4	0	54.9	54.3
二酸化炭素排出量総合計		目標・基準年度 比達成率	-	99%	48.9%	97%	97%
		(kg-CO ₂)	2,767,826	2,740,148	1,353,482	2,712,470	2,684,791
二酸化炭素排出量百万円当り原単位		目標・基準年度 比達成率	-	98%	27%	97%	96%
		(kg-CO ₂)/ 百万円	674.2	660.7	180.5	654.0	647.2
建設現場の廃棄に関し て、分別を積極的に実 施することにより建設リ サイクルを推進します。	分別及びリサイクルの推 進 (単位:%)	目標・取組年度 比達成率	-	-	102.5%	-	-
		(%)	97%	97%	99.38%	97%	97%
事業所・建設現場での 節水に努め、水の使用 量を削減すると共に、建 設現場から排水する水 の汚染、汚濁の防止に 努めます。	事業所利用水の節水 (単位:m ³)	目標・基準年度 比達成率	-	99%	135.7%	98%	97%
		m ³	1,041	1,031	1,413	1,020	1,010
	濁水防止の適正監視 (単位:%)	目標・基準年度 比達成率	-	-	100%	-	-
		(%)	100%	100%	100%	100%	100%
環境に配慮した施工を 推進します。	環境配慮施工の推進 (単位:%)	目標・取組年 度比達成率	-	-	100%	-	-
		(%)	100%	100%	100%	100%	100%
地域の環境美化活動に 参加して社会貢献を推 進します。	地域の美化活動に参加 する。 (単位:回)	目標・基準年度 比達成率	-	-	100%	-	-
		(回)	12	12	12	12	12

目標の説明や補足事項

- 基準値は2018年～2020年の3ヶ年間の平均値としました
- 購入電力の2019年調整後排出係数は、本社のウエスト電気が0.429kg-CO₂/kWh、関西電力が0.318kg-CO₂/kWh、東北電力が0.522kg-CO₂/kWhを2021年から2023年の3ヶ年間固定します
- 京都支店は、2022年3月15日に開設し、電気、水使用量はそれ以降の実績値です
- 東北には東北支店(宮城県)と小高営業所(福島県)があります
- 東北支店(宮城県)は採石業を2022年3月31日で廃止
- 東北支店は2022年3月31日に閉鎖し、電気、ガソリン、軽油、灯油、水使用量はそれまでの実績値です
- 東北支店(宮城県)閉鎖後の電気、ガソリン、軽油、灯油、水使用量は小高営業所の使用分を計上しています
- 電力、化石燃料については、電気、ガソリン、軽油、LPG、灯油の二酸化炭素排出量削減に取り組めます
- 廃棄物は、建設現場からの廃棄物に対して総量を把握し、分別を徹底して建設リサイクル率97%で管理します
- 水使用量については、事務所における水使用量の削減及び建設現場からの濁水流出防止監視について実施します
- 砕石場及び建設現場の環境配慮は、低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車を100%使用します
- 社会貢献活動は美知メセナ活動を実施する。またCESA活動に参加します
- 化学物質の取扱いは無いため、目標に掲げず、適正に管理します
- 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上のために3S活動(整理、整頓、清掃)に取り組めます

4 環境経営計画

環境経営方針	取組項目	環境経営計画の内容	責任部門・担当者
事務所・建設現場・砕石場での電気使用量及び重機・車両の燃料使用量を減し、CO ₂ の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (単位:kWh) 全社	① 不用時の消灯 ② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③ エアコンの温度管理(夏季28℃±1℃)	総務部、 安全課、 東北支店
	電力使用量の削減 (kWh) 本社事務所		
	電力使用量の削減 (kWh) 本社建設現場		
	電力使用量の削減 (kWh) 京都支店		
	電力使用量の削減 (単位:kWh) 東北支店		
	ガソリン使用量の削減 (単位:L) 全社	① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ② 暖機運転・アイドリングストップ ③ 環境に配慮した稼働	総務部、 安全課、 東北支店
	軽油使用量の削減 (単位:L) 全社		
	灯油使用量の削減 (単位:L) 全社	①ストーブの温度管理(冬季20℃±1℃)	
	LPG使用量の削減 (単位:Kg) 全社	① 使用時のみ点火 ② 現場では、使用のみ点火し、バーナーで火気を調整する	
建設現場の廃棄に関して、分別を積極的実施することにより建設リサイクルを推進します。	分別及びリサイクルの推進 (単位:%)	① 建設廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底 ② 無駄な資機材を購入しない。 ③ 使用済みコピー用紙を再利用	安全課、 総務部、 東北支店
事業所・建設現場での節水に努め、水の使用量を削減すると共に、建設現場から排水する水の汚染、汚濁の防止に努めます。	事業所利用水の節水 (単位:m ³)	① 洗車時に水使用量を減らす。 ② 水を流しながらの洗い物はしない。	総務部、 東北支店
	濁水防止の適正監視 (単位:%)	① オイル吸着材を設置 ② 濁水発生の点検監視を実施	安全課、 東北支店
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の推進 (単位:%)	① 採石場や建設現場では低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車両を使用 ② 環境に配慮した稼働	安全課、 東北支店
地域の環境美化活動に参加して社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。 (単位:回)	① 美知メセナ活動を毎月実施 ② 滋賀県主催「びわ湖の日清掃活動」参加 1回/年 ③ 守山商工会建設部会主催「市内小学校グラウンド側溝清掃活動」参加 1回/年 ④ 元請公共工事にて現場見学会開催 1回/年	営業部、 総務部

取組の紹介

- 「美知メセナ活動」とは、滋賀県と合意書を交わし、地域の清掃活動をボランティアで行う活動です。

5 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

評価:○達成 △基準年値を達成 ×未達成							
環境経営方針	取組項目	単位	2021年 取組年 2021年6月1日～2022年5月31日		評価	取組の評価	担当責任者
			(目標)	(実績)			
事務所・建設現場・砕石場での電気使用量及び重機・車両の燃料使用量を減し、CO ₂ の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (単位:kWh) 全社	目標・基準年度 比達成率	99%	38.4%	○	消灯確認記録を毎日つけて、消灯に努めた。またエアコンの温度管理(夏季26℃、冬季22℃)をデブラ表示した。	総務部、安全課、東北支店
		使用量	442,288	171,640			
		(kg-CO ₂)	157,566	71,043			
	電力使用量の削減 (kWh) 本社事務所	目標・基準年度 比達成率	99%	97.4%	○		
		使用量	102,622	100,972			
		(kg-CO ₂)	44,025	56,544			
	電力使用量の削減 (kWh) 本社建設現場	目標・基準年度 比達成率	99%	15.0%	○		
		使用量	312,567	47,437			
		(kg-CO ₂)	99,396	15,085			
	電力使用量の削減 (kWh) 京都支店	目標・基準年度 比達成率	-	-	-		
		使用量	-	1,735			
		(kg-CO ₂)	-	552			
	電力使用量の削減 (単位:kWh) 東北支店	目標・基準年度 比達成率	99%	84.6%	○		
		使用量	27,099	23,160			
		(kg-CO ₂)	14,145	12,090			
	ガソリン使用量の削減 (単位:L) 全社	目標・基準年度 比達成率	99%	81.1%	○	運転日誌(燃費や不要物積載確認等)を毎日つけ、エコドライブや重機の環境に配慮した稼働に努めた。また、車輛の買い替えは、ハイブリット車を購入した。	総務部、安全課、東北支店
		使用量	92,256	75,569			
		(kg-CO ₂)	214,034	175,320			
	ガソリン使用量の削減 (単位:L) 本社事務所	目標・基準年度 比達成率	99%	89.4%	○		
		使用量	21,238	19,168			
		(kg-CO ₂)	49,272	44,469			
	ガソリン使用量の削減 (単位:L) 本社建設現場	目標・基準年度 比達成率	99%	93.5%	○		
		使用量	40,198	37,956			
		(kg-CO ₂)	93,259	88,058			
ガソリン使用量の削減 (単位:L) 京都支店	目標・基準年度 比達成率	-	0.0%	-			
	使用量	-	0				
	(kg-CO ₂)	-	0				
ガソリン使用量の削減 (単位:L) 東北支店	目標・基準年度 比達成率	99%	59.2%	○			
	使用量	30,821	18,445				
	(kg-CO ₂)	71,504	42,793				
軽油使用量の削減 (単位:L) 全社	目標・基準年度 比達成率	99%	46.0%	○			
	使用量	917,071	425,921				
	(kg-CO ₂)	2,366,044	1,098,876				
軽油使用量の削減 (単位:L) 本社建設現場	目標・基準年度 比達成率	99%	7.5%	○			
	使用量	347,726	26,408				
	(kg-CO ₂)	897,133	68,132				
軽油使用量の削減 (単位:L) 東北支店	目標・基準年度 比達成率	99%	69.5%	○			
	使用量	569,345	399,513				
	(kg-CO ₂)	1,468,911	1,030,743				
灯油使用量の削減 (単位:L) 全社	目標・基準年度 比達成率	99%	341.7%	×			
	使用量	955	3,296				
	(kg-CO ₂)	2,378	8,208				
灯油使用量の削減 (単位:L) 本社事務所	目標・基準年度 比達成率	99%	361.7%	○			
	使用量	244	891				
	(kg-CO ₂)	607	2,219				
灯油使用量の削減 (単位:L) 本社建設現場	目標・基準年度 比達成率	99%	547%	×			
	使用量	435	2,405				
	(kg-CO ₂)	1,084	5,989				
灯油使用量の削減 (単位:L) 東北支店	目標・基準年度 比達成率	99%	0.0%	-			
	使用量	276	0				
	(kg-CO ₂)	687	0				

総務部、
安全課、
東北支店

総務部、
安全課、
東北支店

LPG使用量の削減 (単位:Kg) 全社		目標・基準年度 比達成率	99%	28.1%	○			
		使用量	42.0	11.9				
		(kg-CO ₂)	126	36				
		LPG使用量の削減 (単位:Kg) 本社事務所		目標・基準年度 比達成率	99%		50.1%	○
				使用量	23.5		11.9	
				(kg-CO ₂)	70		36	
LPG使用量の削減 (単位:Kg) 本社建設現場		目標・基準年度 比達成率	99%	0.0%	-			
		使用量	18.5	0.0				
		(kg-CO ₂)	55	0				
二酸化炭素排出量総合計		目標・基準年度 比達成率	99%	48.9%	○			
		(kg-CO ₂)	2,740,148	1,353,482				
二酸化炭素排出量百万円当り原単位		目標・基準年度 比達成率	98%	27%	○			
		(kg-CO ₂)/ 百万円	661	180				
建設現場の廃棄に関し て、分別を積極的に実 施することにより建設リ サイクルを推進します。	分別及びリサイクルの推 進 (単 位:%)	目標・取組年 度比達成率	-	102.46%	○	建設現場で発生した廃 棄物は分別を徹底し、建 設リサイクルに努めた。使 用済のコピー用紙を再利 用した。		安全課、 総務部、 東北支店
		(%)	97%	99%				
事業所・建設現場での 節水に努め、水の使用 量を削減すると共に、建 設現場から排水する水 の汚染、汚濁の防止に 努めます。	事業所利用水の節水 (単位:m ³)	目標・基準年度 比達成率	99%	135.7%	×	水を流し放しにせず、 節水に努めたが、現場 での使用量が増えた。		総務部、 東北支店
		m ³	1,031	1,413				
	濁水防止の適正監視 (単位:%)	目標・基準年度 比達成率	-	100%	○	現場で濁水発生の有 無を確認し、環境 チェックシートに記録し た。		安全課、 東北支店
		(%)	100%	100%				
環境に配慮した施工を 推進します。	環境配慮施工の推進 (単位:%)	目標・取組年 度比達成率	-	100%	○	現場の環境配慮施工 の各項目を環境チェッ クシートに記録し、環 境配慮施工を推進し た。		安全課、 東北支店
		(%)	100%	100%				
地域の環境美化活動に 参加して社会貢献を推 進します。	地域の美化活動に参加 する。 (単位:回)	目標・基準年度 比達成率	-	100%	○	美知メセナ活動や地域 の清掃活動に参加し た。		営業部、 総務部
		(回)	12	12				

次年度の主な取組内容

- 1 二酸化炭素排出量削減取組みでは、目標達成手段を実施します
- 2 廃棄物は総量を把握し、分別を実施して建設リサイクルを推進します
- 3 水使用量の削減では、使用量の削減に努め、建設現場では濁水監視します
- 4 建設現場では環境に配慮した施工に取り組みます
- 5 環境美化活動は地域の美化活動に参加します
- 6 環境目標の達成取組みと共に、作業場の環境及び品質安全向上ために3S活動(整理、整頓、清掃)に取り組み、意識を持って全員で実践します

6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反、訴訟等の指摘はありません

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
建設リサイクル法	建設副産物の管理、排出	遵守
大気汚染防止法	粉じん発生施設の届出、解体工事の作業開始前の14日前までに都道府県知事に届出、該工事発注者に対し、調査結果について書面を交付して説明	遵守
水質汚濁防止法	施設の届出、事故時の措置、知事への報告等	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車のリサイクル券、適正廃棄	遵守
家電リサイクル法	家電リサイクル券、適正廃棄	遵守
資源有効利用促進法	パソコン等の再資源化	遵守
騒音規制法	対象特定建設作業の届出、特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の点検・記録の保存と適正廃棄、点検記録の保存、解体を依頼された場合は、第一種特定製品の有無の事前確認を行い、発注者に書面(事前確認書)を交付	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	遵守
注:適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。		

7 代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクション21に取組して、5年が経過し活動が定着し、それぞれ成果が何えた。主たる建設業でのCO2排出量については、受注した工事内容で大きく変化するので、個々の現場でコツコツとCO2削減を心がけて行くしか策がないのですが、分別及びリサイクル等も含めた環境活動は、着実に目標に近づくことが出来ていると感じております。コロナ不況及びロシア問題等の影響により、当社でも燃料・材料の高騰や本社の電力契約先が変更となる等、社会情勢が激しく変化していく中でも、当社のできる社会貢献活動を継続していきたいと思ひます。又、東北支店での需要が減り閉鎖となり、新たに京都での営業拡大を図り京都支店開設となった。次年度の環境経営方針についてはCO2排出量の削減と共に原単位での削減に取組み又、京都支店の環境経営目標を設定して取組ます。

環境経営方針	☐ 変更なし	☒ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制他	☐ 変更なし	☒ 変更あり

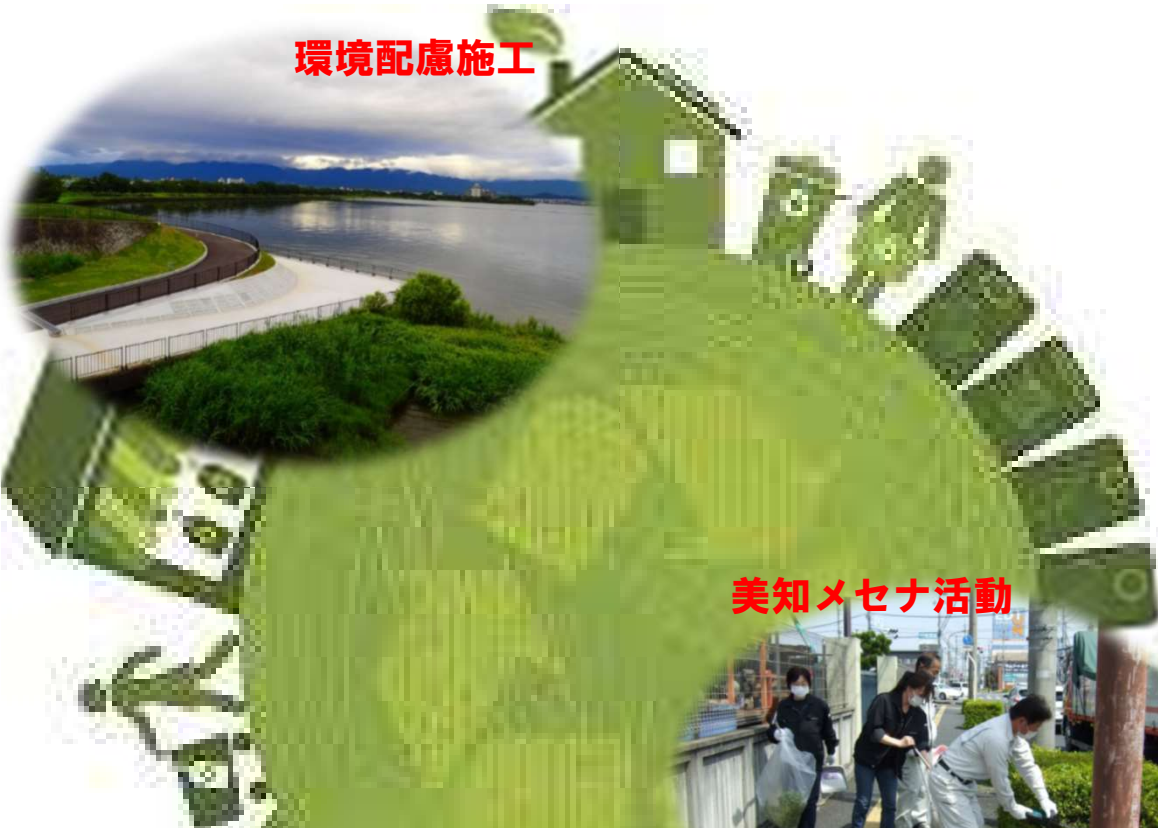
品質・環境への取り組み

【理念・目標】

株式会社日建は、あらゆる事業活動での環境負荷の低減を目指し、省資源、省エネルギー、リサイクルの推進及び廃棄物削減を実現する為に低エネルギーシステム、エコ素材を有効に活用し、地球環境の保全に取り組めます。
こうした理念を具体化するため以下の4つの実現を目指します。

- (1) 環境負荷の少ない建築・土木の建設
- (2) 省資源、省エネルギーの推進
- (3) 廃棄物削減への取り組み
- (4) 環境に関連する社会活動への参加・協力

環境配慮施工



美知メセナ活動



省資源・省エネルギーの推進





市内の道路や「びわ湖の日」に環境
を守る取り組みとして清掃活動に参



施工現場

感謝状

貴社が守山市環境施設建設工事に
際して豊富な知識と卓越した
技術を發揮し、誠心誠意工事の
完成に貢献されました。
本日ここに竣工式を遂行するに
あたり、貴社の努力と功績に対し
深く感謝の意を表します。
令和三年十月一日
守山市長 宮本和宏

